

企業景況調査報告書

(平成25年4～6月期)



7/22 中部元気クラブ

< 目 次 >

調査の概要・調査結果概要 1
質問2 (直面している経営上の問題点) 2
質問3 (その他 意見) 3、4
集計結果 5～7
業況判断D Iの推移 8
調査票様式 9

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書(平成25年4～6月)

調査対象企業	倉吉市内の商工会議所会員企業 100 社 (建設業 22 社、製造業 20 社、卸売業 10 社、小売業 22 社、サービス業 18 社、その他 8 社)
調査方法	各事業所を職員が直接訪問し、聞き取り又は依頼後調査票回収による。
調査時期	平成 25 年6月末～平成 25 年7月中旬
回収状況	82 社(回収率 82%) ※前回(1～3 月)82 社(回収率 82%)

《調査結果概要》

当地域の業況は、全業種の業況判断において前年同期比の好転から悪化を引いたDI値は、前回に比して悪化幅が縮小しているものの、マイナス値を示す結果となっている。項目別では、売上高の減少幅は縮小しているが、売上単価、収益状況に関しては、引き続き悪化していると回答した企業が多くみられた。雇用人員については、サービス業を除き過剰傾向との集計結果であった。

来期見通しについては、消費需要の停滞、企業間の競争激化などを背景に、売上高、収益状況が減少すると予想されている。また消費税増税を目前に控え、受注対策、増税分の転嫁等の対策を検討する企業が散見された。

<今期の状況> ☆一部業種を除き収益状況の悪化が続く厳しい状況

前年同期比では、自社の業況判断で▲13.9ポイント(前回値▲20.3ポイント)と悪化幅が縮小しているが、依然としてマイナスに傾倒する厳しい数値である。

項目別では、売上高で▲11.4ポイント(前回値▲23.5ポイント)と減少幅が縮小している。しかし、売上単価は▲20.5ポイント(前回値▲18.2ポイント)と全業種で引き続き低下しており、収益状況についても▲21.8ポイント(前回値▲21.8ポイント)と継続的にマイナス値を示している。収益状況の悪化傾向は、卸売業▲40.0ポイント(前回値▲42.8ポイント)で顕著に表れており、一因としては県外業者の相次ぐ参入による売上高の減少が挙げられる。雇用人員については、建設業+15.0ポイント(前回値▲23.5ポイント)、卸売業+20.0ポイント(前回値▲20.0ポイント)を中心に過剰傾向である。

<来期の見通し> ☆全業種でマイナスが縮小するも引き続き厳しい見通し

来期(7～9月)は、自社の業況判断で▲8.7ポイント(前回値▲23.9ポイント)と好調傾向にある建設業が牽引する形で、悪化幅が縮小する見通しとなった。

しかし当地域の業況に閉塞感を感じている企業は依然として多く、売上高、収益状況の項目では、それぞれ▲14.2ポイント(前回値▲10.4ポイント)、▲21.8ポイント(前回地▲21.8ポイント)と悪化予想が大半を占めている。また消費税増税を目前に控え、受注対策、増税分の転嫁等、増税後の対策について苦慮する企業も目立ち始めている。

※DI値＝売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を示します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、**強気・弱気などの景気感の相対的な広がり**を意味するものです。

DI＝(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

◇業況・採算DI値：(好転)－(悪化)、◇売上DI値：(増加)－(減少)

質問2 直面している経営上の問題点(上位3点を回答)

前期の調査時点と比較し、「競争激化」と回答した企業が増加する結果となった。また前期に上位項目として挙げられていた「利益率低下」については、建設業、サービス業で依然目立つ傾向にあるが、全業種で見ると減少に転じている。

〔上位項目〕

※ () 内は件数

分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当期	売上・受注減少(26)	競争激化(23) 消費・需要の停滞(23)	
	前期	売上が増えない(34)	利益率が上がらない(29)	消費需要の停滞(25)
建設業	当期	利益率低下(9)	売上・受注減少(8)	原材料・仕入価格上昇(7)
	前期	利益率が上がらない(7)	売上が増えない(6) 既存同業者間による競争の激化(6)	
製造業	当期	消費・需要の停滞(7)	競争激化(5) 売上・受注減少(5) 原材料・仕入価格上昇(5)	
	前期	売上が増えない(6) 消費需要の停滞(6)		利益率が上がらない(4)
卸売業	当期	売上・受注減少(5)	競争激化(3)	消費・需要の停滞(2) 売上・受注単価低下(2)
	前期	利益率が上がらない(7)	売上が増えない(5)	既存同業者間による競争の激化(2) 仕入価格の上昇(2)
小売業	当期	消費・需要の停滞(7)	経費の増加(4) 新分野進出(4)	
	前期	消費・需要の停滞(10)	売上が増えない(7)	既存同業者間による競争の激化(5)
サービス業	当期	経費の増加(5) 利益率低下(5)		消費・需要の停滞(4)
	前期	売上が増えない(6)	利益率が上がらない(4)	消費需要の停滞(3) 熟練技術者・技能者の確保難(3)
その他業種	当期	競争激化(3)	消費・需要の停滞(2) 売上・受注の減少(2)	
	前期	売上が増えない(4) 利益率が上がらない(4)		既存同業者間による競争の激化(2)

質問3 その他（要望・意見等自由記入）

【建設業】

- ・消費税増税後の受注対策がみえてこない。
- ・当地域では景況の上昇気運が感じられない。

【製造業】

- ・2014年4月に8%、2015年10月に10%と短期間で2度にわたる消費税の引き上げには不安を感じている。
- ・景況、業況とも引き続き低調に推移しており、改善の兆しは見られない。
- ・現時点では売上の減少が不況感を強くしているので、売上が増加するよう、景気が良くなる方策が見えてくるよう願っている。県産製品の消費拡大策のアイデアなど。
- ・インターネット、パソコン等紙を使用する仕事が減少し、ネット印刷の単価は低下しており、がけっぶちの業界である。多方面に新規参入する勇氣、元気がなく、毎日、毎月、毎年何とかしのいでいる。

【卸売業】

- ・人口の減少が続く中で大手チェーン小売、業務店の出店が相次ぎ、地元経営者の店舗は大変厳しい状況である。
- ・急な円安により仕入高がアップし、転嫁がスムーズに行かない。
- ・県外から参入する業者がどんどん増え、地元の業者は大変である。

【小売業】

- ・売上げは当社企画、営業努力により10%回復したが、まだ景気が良くなったとは言えない。良質な商品を販売していきたい。
- ・少しずつ景気が回復してきているというイメージはあるが、数字には表れていない。好転するように様々な仕掛けが必要な時なのだろうか。中々難しい状況である。
- ・各社、各個店の努力のみでは、将来が見えない。地方と中央の格差問題を解消出来るか、地域社会の危機である。

【サービス業】

- ・企業等の団体での旅行が減少しており、利益の少ない個人扱いで運営しているが、なかなか厳しい状況である。

- ・2014年4月以降に消費税が増税されるが、方策が思い当たらない。500円前後の少額取引での3%の処理が出来そうにない。また値上げが出来る環境にもない。
- ・悪い話ばかりで好材料は一つもない。
- ・3月中旬以降、いっぺんに仕事が受注できた。しかし、その直前1年間は仕事が極端に少なく社員の採用を控えてきたため、人手不足になってしまった。採用をしようとしても不人気な業種になってしまったため、採用できる技術者が少なくて困っている。
- ・夜高齢者が出られなくなり、売上が減少傾向にある。また人手不足、原材料の価格上昇に悩まされている。
- ・横ばい状態で特に際立った特徴はない。

【その他業種】

- ・消費の低迷に伴い、売上が減少している。

<集計結果>

質問1 DI 値集計(前年同期比=25年4~6月期、来期の見通し=25年7~9月期) ※ DI=Diffusion Index

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
総合	-11.4	-14.2	-20.5	-20.6	-21.8	-21.8
製造業	-11.1	-29.4	-22.2	-16.7	-29.4	-35.3
非製造業	-11.5	-9.8	-20.0	-21.7	-19.7	-18.0

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
総合	-2.5	-5.1	-1.2	-5.2	5.0	-3.7
製造業	-16.7	-22.2	0.0	-5.6	5.6	0.0
非製造業	1.6	0.0	-1.6	-5.0	4.8	-4.9

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
総合	-13.9	-8.7
製造業	-17.7	-16.6
非製造業	-12.9	-6.5

【業種別】

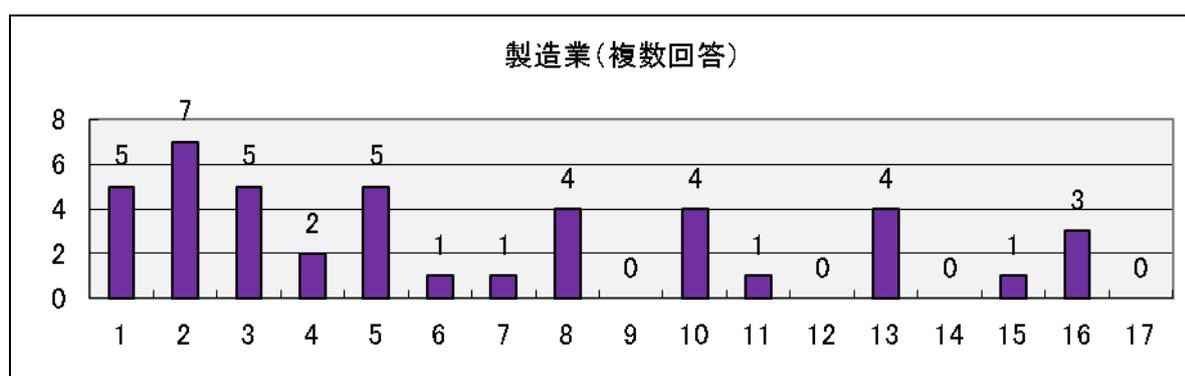
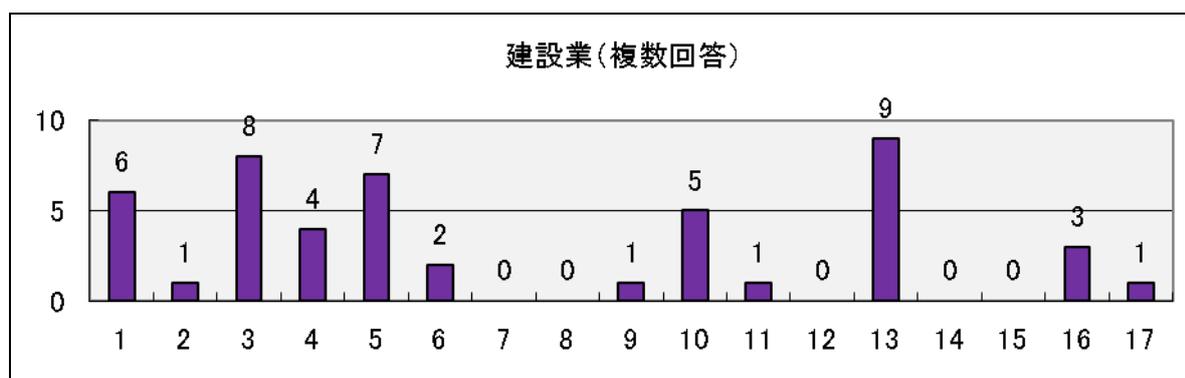
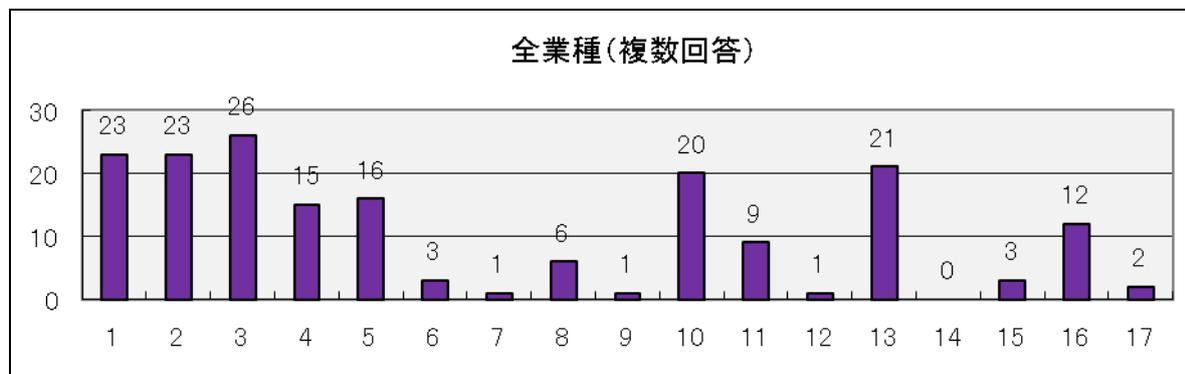
	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
総合	-11.4	-14.2	-20.5	-20.6	-21.8	-21.8
建設業	0.0	-5.0	-20.0	-20.0	-10.0	-20.0
製造業	-11.1	-29.4	-22.2	-16.7	-29.4	-35.3
卸売業	0.0	-20.0	-20.0	-40.0	-40.0	-20.0
小売業	-18.8	-12.5	-6.2	-12.5	-12.5	-12.5
サービス業	-8.4	-8.3	-25.0	-25.0	0.0	-16.7
その他	-37.5	-12.5	-42.9	-28.6	-75.0	-25.0
非製造業	-11.5	-9.8	-20.0	-21.7	-19.7	-18.0

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
総合	-2.5	-5.1	-1.2	-5.2	5.0	-3.7
建設業	5.0	5.2	15.0	10.0	15.0	0.0
製造業	-16.7	-22.2	0.0	-5.6	5.6	0.0
卸売業	-20.0	-20.0	0.0	-20.0	20.0	0.0
小売業	23.5	6.2	-23.5	-18.8	11.8	11.8
サービス業	-8.3	-8.4	0.0	-8.4	-25.0	-25.0
その他	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-16.7
非製造業	1.6	0.0	-1.6	-5.0	4.8	-4.9

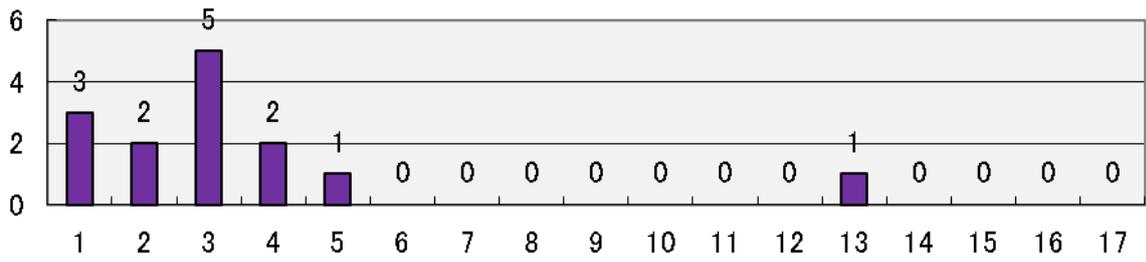
	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-13.9	-8.7
建設業	15.0	10.0
製造業	-17.7	-16.6
卸売業	-40.0	-20.0
小売業	-17.7	-11.7
サービス業	0.0	-8.3
その他	-50.0	-16.7
非製造業	-12.9	-6.5

質問2 今期直面している経営上の問題点

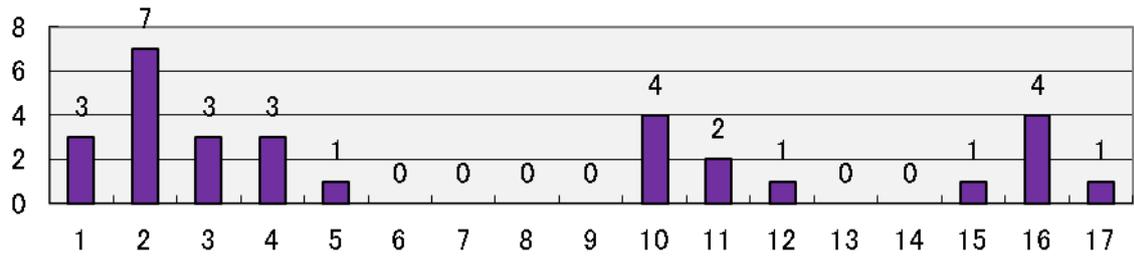
- | | | |
|---------------|------------------|-------------|
| 01 競争激化 | 07 原材料・在庫過剰 | 13 利益率低下 |
| 02 消費・需要の停滞 | 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 14 代金回収難 |
| 03 売上・受注減少 | 09 店舗・生産設備過剰 | 15 資金繰り難 |
| 04 売上・受注単価低下 | 10 経費の増加 | 16 新分野進出 |
| 05 原材料・仕入価格上昇 | 11 人手不足 | 17 その他:具体的に |
| 06 原材料・在庫不足 | 12 人手過剰 | () |



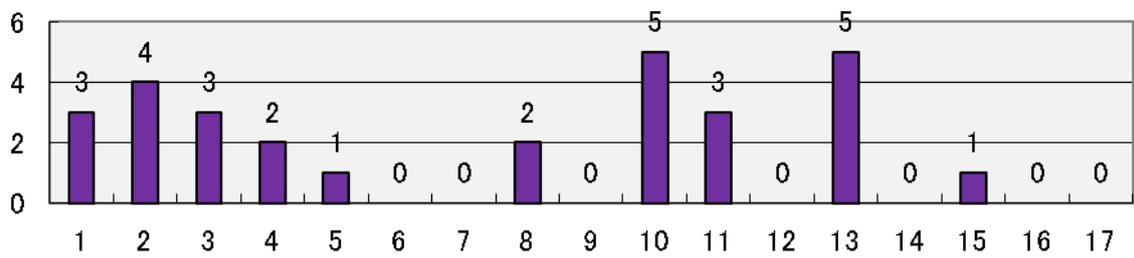
卸売業(複数回答)



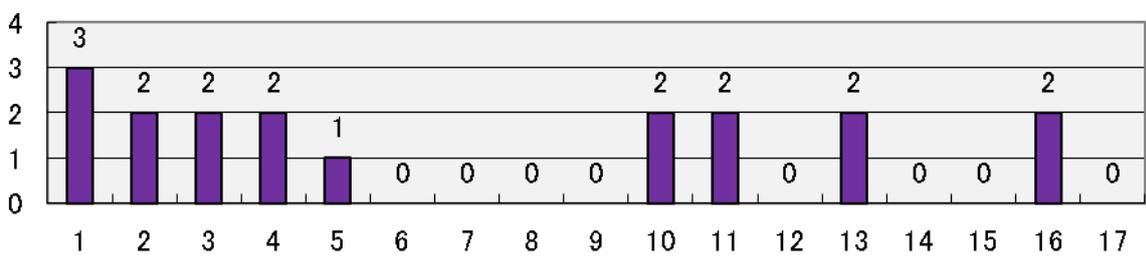
小売業(複数回答)



サービス業(複数回答)



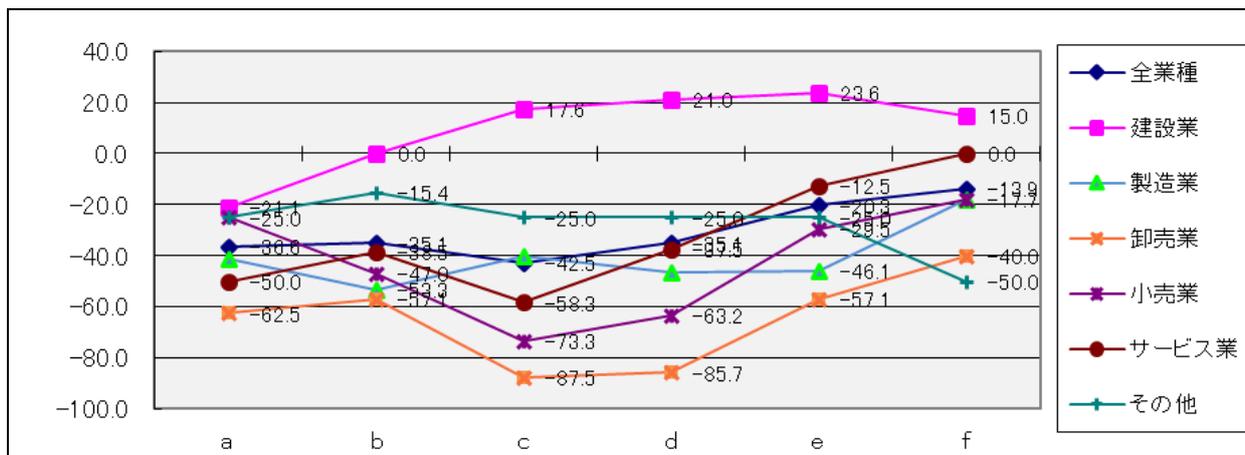
その他(複数回答)



業況判断D I の推移

(1) 前年同期比

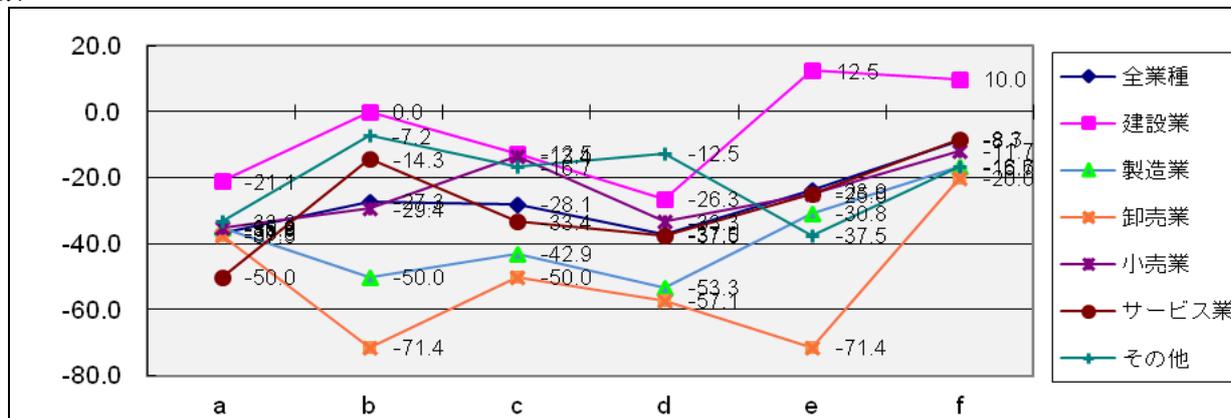
<業種別>



	a	b	c	d	e	f
	H24年1~3月	H24年4~6月	H24年7~9月	H24年10~12月	H25年1~3月	H25年4~6月
全業種	-36.6	-35.1	-42.5	-35.1	-20.3	-13.9
建設業	-21.1	0.0	17.6	21.0	23.6	15.0
製造業	-41.2	-53.3	-40.0	-46.6	-46.1	-17.7
卸売業	-62.5	-57.1	-87.5	-85.7	-57.1	-40.0
小売業	-25.0	-47.0	-73.3	-63.2	-29.5	-17.7
サービス業	-50.0	-38.5	-58.3	-37.5	-12.5	0.0
その他	-25.0	-15.4	-25.0	-25.0	-25.0	-50.0

(2) 来期の見通し

<業種別>



	a	b	c	d	e	f
	H24年4~6月	H24年7~9月	H24年10~12月	H25年1~3月	H25年4~6月	H25年7~9月
全業種	-36.6	-27.3	-28.1	-37.0	-23.9	-8.7
建設業	-21.1	0.0	-12.5	-26.3	12.5	10.0
製造業	-35.3	-50.0	-42.9	-53.3	-30.8	-16.6
卸売業	-37.5	-71.4	-50.0	-57.1	-71.4	-20.0
小売業	-35.0	-29.4	-13.4	-33.3	-25.0	-11.7
サービス業	-50.0	-14.3	-33.4	-37.5	-25.0	-8.3
その他	-33.3	-7.2	-16.7	-12.5	-37.5	-16.7

様

㊞

倉吉商工会議所企業景況調査票(平成25年4~6月期)

調査元：倉吉商工会議所 TEL:22-2191/FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(平成25年4~6月)の状況と来期(平成25年7~9月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人		
	(前年同期比)	1. 過剰	2. 不変	3. 不足
	(来期の見通し)	1. 過剰	2. 不変	3. 不足
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期、直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

		回答欄
01 競争激化	10 経費の増加	
02 消費・需要の停滞	11 人手不足	
03 売上・受注減少	12 人手過剰	1位 _____
04 売上・受注単価低下	13 利益率低下	
05 原材料・仕入価格上昇	14 代金回収難	
06 原材料・在庫不足	15 資金繰り難	2位 _____
07 原材料・在庫過剰	16 新分野進出	
08 店舗・生産設備不足・老朽化	17 その他：具体的に	
09 店舗・生産設備過剰	()	3位 _____

【質問3】現在の景況感、企業経営上の問題点等についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。